

文教厚生常任委員会視察報告

11月12日から14日にかけて委員5人、事務局職員1人で
愛知県高浜市と三重県桑名市を視察研修した。



○福祉のまち高浜市（愛知県）

高浜市は人口42,061人、一般会計予算122億9,330万円で財政的に恵まれた全国的にも福祉のまちとして知られている。

1. 次世代行動計画の策定

平成15年厚生労働省の先行モデル事業として実施され、行動計画の策定が殆んど自治体がコンサルタントに委託する中であって、職員の手作りで策定されたことは特筆される。

2. こども医療費の助成

常に県より先行して乳幼児や児童生徒の医療費の助成策を展開している。

(1) 平成4年度から0歳児の入院及び通院に係る医療費の自己負担額を現物給付による全額助成。また1歳児及び2歳児の入院に係る自己負担額を償還払いによる全額助成。

(2) その後に何度かの制度見直しがあり、現在は0歳児～小学校就学前の入院及び通院に係る医療費の自己負担額を現物給付による全額助成。小学生及び中学生の入院に係る医療費の自己負担額を償還払いによる全額助成。また、通院に係る医療費の自己負担額を償還払いによる3分の2助成。

○スクールランチのまち桑名市（三重県）

桑名市は、平成16年に旧桑名市・旧多度町・旧長島町の合併により誕生した人口14万2,000人、一般会計予算461億円のまちである。

学校給食の実施状況は、旧桑名市が幼稚園、小学校で自校方式、中学校は未実施であり、旧多度町・旧長島町は給食センター方式であった。

合併を契機に給食を学校教育における「食育の核」である基本理念のもと「教育活動の一環」として民間委託（デリバリー）方式と旧桑名市の中学校では弁当持参が定着していた経緯もあり、家庭からの弁当の選択制の方法で、平成18年10月から試行開始し、平成19年6月から全中学校で実施されている。

給食費は前払い制でコンビニを活用し、給食の予約は自宅のパソコンや携帯電話、専用のマークシートを使用。食材の調達方法や調理は、食の安全の観点から市の栄養士が受託業者の事務所に常駐している。教室で給食を体験、弁当持参の生徒とおかずを交換するなど、和気あいあいとした食事風景であった。給食費の滞納問題は、この民間委託方式では当然発生しないとのことである。

